

第4節

区民参加による環境づくり

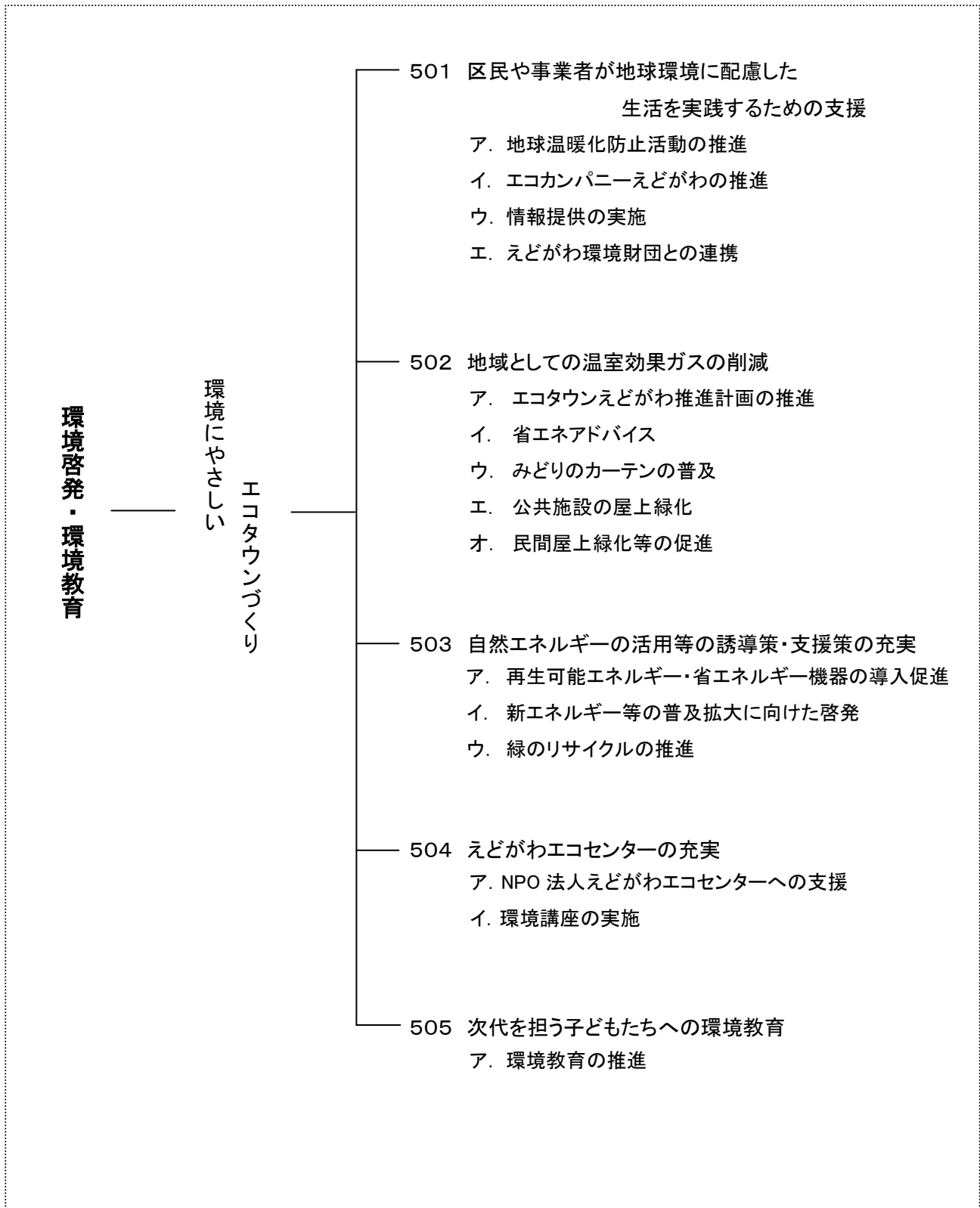
- 1 環境啓発・環境教育
(1) 環境にやさしいエコタウンづくり
- 2 資源循環（ごみの減量と資源リサイクル）
(1) ライフスタイルの見直しによるごみの大幅な減量化
(2) 資源リサイクルの拡充
- 3 自然との共生・ふれあい
(1) 水と緑でネットワークする「いのちのオアシス」づくり
(2) 自然とのふれあいの拡大
- 4 都市環境問題・有害化学物質への対応
(1) 生活環境の改善・保全と新たな環境汚染問題への対応

1 環境啓発・環境教育

【施策の考え方】

一人ひとりが環境に対する高い意識を持てるように、幅広い年齢層が参加できる多様な学習の機会を整えます。特に「暮らしと環境」との関係性をわかりやすく体系的に学べるようにするとともに、学校等において、次代を担う子どもたちに環境教育を積極的に行います。また、えどがわエコセンターと連携し、環境啓発、環境教育等を進め、資源循環、自然とのふれあい等の取り組みにつなげます。

【施策体系図】



(1)環境にやさしいエコタウンづくり

501 区民や事業者が地球環境に配慮した生活を実践するための支援

地球温暖化防止を図るため、えどがわエコセンター*と連携し、省エネ・省資源・ごみ減量等にみんなが取り組む「もったいない運動えどがわ」を拡大します。併せて、区独自の環境取り組み制度「エコカンパニーえどがわ」事業*の普及促進を図り、事業者の地球温暖化防止等の環境に配慮した自主的な取り組みを支援します。

えどがわ環境財団*と連携し、水と緑に親しめるような区民意識の啓発、子どもたちへの環境学習等を推進します。

※ **えどがわエコセンター**:江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働し、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため設立した特定非営利活動法人。

※ **「エコカンパニーえどがわ」事業**:環境活動の取り組みに対する宣言をした事業所を、「環境取り組み事業所」として登録し、年一回、その活動を報告する制度。

※ **えどがわ環境財団**:緑化推進に関する事業及び動物とのふれあいに関する事業を行い、水と緑の環境を保護・保全することを目的として設置した公益財団法人。

| 施策コード | 501 | 年次計画 | | |
|----------------|-----|--------------------|--------------|--------------|
| 計画事業内容 | | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) |
| 地球温暖化防止活動の推進 | | もったいない運動えどがわの拡大 | 同左 | 同左 |
| 事業費 | | 145千円 | 145千円 | 145千円 |
| エコカンパニーえどがわの推進 | | 登録事業所の拡大 | 同左 | 同左 |
| | | 事業者の取り組み支援 | 同左 | 同左 |
| 事業費 | | 839千円 | 839千円 | 839千円 |
| 情報提供の実施 | | 情報紙発行支援及びホームページの充実 | 同左 | 同左 |
| 事業費 | | — 千円 | — 千円 | — 千円 |
| えどがわ環境財団との連携 | | 事業連携 | 同左 | 同左 |
| 事業費 | | 0千円 | 0千円 | 0千円 |

「—」:事業費は、NPO法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード504)の中で計上しています。

502 地域としての温室効果ガスの削減

地域をあげて地球温暖化防止を図るため、エコタウンえどがわ推進計画*の推進に努めます。また、都が実施している省エネアドバイス*等を広く周知し、区民の省エネ行動を推進します。

住宅等整備事業における基準等に関する条例*に基づいた民間や公共施設の屋上緑化等の取り組みを推進することにより、ヒートアイランド現象*の抑制を図るとともに、緑のカーテンの普及を支援することにより夏場の省エネルギー対策の推進を図ります。

※ **エコタウンえどがわ推進計画**:地球温暖化防止を図るため、温室効果ガス削減の数値目標等を定めた計画。

※ **省エネアドバイス**:中小事業者を対象に節電アドバイザーを派遣し、それぞれの事業所にあった対策を提案する事業。

※ **住宅等整備事業における基準等に関する条例**:中高層共同住宅、一定規模以上の土地利用の基準等を定めたもの。

※ **ヒートアイランド現象**:都市中心部の都市活動の結果として生じる気温上昇現象。

| 施策コード | 502 | 年次計画 | | |
|------------------|-----|--------------|--------------|--------------|
| 計画事業内容 | | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) |
| エコタウンえどがわ推進計画の推進 | | 推進本部の運営 | 同左 | 同左 |
| | | 計画の実施・周知 | 同左 | 同左 |
| 事業費 | | 332千円 | 332千円 | 332千円 |

| | | | |
|-------------|---------------------------------------|-------|-------|
| 省エネアドバイス | 都の省エネ診断事業等の紹介 | 同左 | 同左 |
| 事業費 | 0千円 | 0千円 | 0千円 |
| みどりのカーテンの普及 | モニター事業 | 同左 | 同左 |
| | 区民への周知 | 同左 | 同左 |
| 事業費 | —— 千円 | —— 千円 | —— 千円 |
| 公共施設の屋上緑化 | 6施設 | 6施設 | 9施設 |
| 事業費 | 0千円 | 0千円 | 0千円 |
| 民間の屋上緑化等の促進 | 「住宅等整備事業における基準等に関する条例」に基づく相談対応促進件数50件 | 同左 | 同左 |
| 事業費 | 0千円 | 0千円 | 0千円 |

「ー」:事業費は、NPO法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード504)、小中学校の改築(施策コード129)の中で計上しています。

503 自然エネルギーの活用等の誘導策・支援策の充実

住宅や事業所への再生可能エネルギー・省エネルギー機器の導入を促進するため、えどがわエコセンターで実施する太陽光エネルギー利用講習会への支援や、東京都などの機器の導入に対する補助・支援制度の周知を行います。また、水素エネルギー普及に向けた活動を実施する民間団体や自治体と連携し、情報発信等を行います。剪定枝、枯損木、倒木等の発生材を、ボランティア団体や保育園・小中学校などでの樹名板等を作製し、区の公園の樹木や街路樹等に設置し、有効活用を図ります。

| 施策コード | 503 | 年次計画 | | |
|-------------------------|-----------------|--------------|--------------|--------------|
| 計画事業内容 | | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) |
| 再生可能エネルギー・省エネルギー機器の導入促進 | 区民への情報提供 | 同左 | 同左 | 同左 |
| 事業費 | —— 千円 | —— 千円 | —— 千円 | —— 千円 |
| 新エネルギー等の普及拡大に向けた啓発 | 区民への情報提供 | 同左 | 同左 | 同左 |
| 事業費 | 87千円 | 87千円 | 87千円 | 87千円 |
| 緑のリサイクルの推進 | 剪定枝等を活用した樹名板の作製 | 同左 | 同左 | 同左 |
| 事業費 | 346千円 | 346千円 | 346千円 | 346千円 |

「ー」:事業費は、NPO法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード504)の中で計上しています。

504 えどがわエコセンターの充実

区民、事業者及び区が連携・協働した環境活動の輪をさらに広げるため、その中心となるえどがわエコセンターの活動を支援します。また、えどがわエコセンターで実施する学習会等の環境講座を支援するとともに、地域の環境学習リーダーを育成するための「おきがる環境講座」事業等を委託します。

| 施策コード | 504 | 年次計画 | | |
|---------------------|--------------|--------------|--------------|--|
| 計画事業内容 | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) | |
| NPO法人えどがわエコセンターへの支援 | 活動支援 | 同左 | 同左 | |
| 事業費 | 47,734千円 | 47,734千円 | 47,734千円 | |
| 環境講座の実施 | 各種環境講座 | 同左 | 同左 | |
| | 人材育成事業 | 同左 | 同左 | |
| 事業費 | 607千円 | 607千円 | 607千円 | |

505 次代を担う子どもたちへの環境教育

えどがわエコセンターで実施するグリーンプラン推進校※事業や、小・中学校の環境学習事業等を支援します。また、「学校版もったいない運動」と連携し、環境教育のさらなる拡大を図ります。

さらに、諸団体等が地域で行っている環境に関する活動に対して支援を行います。

※ グリーンプラン推進校:えどがわエコセンターと協働し、学校における環境学習を推進するモデル校。

| 施策コード | 505 | 年次計画 | | |
|---------|----------------------------|--------------|--------------|--|
| 計画事業内容 | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) | |
| 環境教育の推進 | グリーンプラン推進校の拡大及び小中学校の環境学習支援 | 同左 | 同左 | |
| | 学校版もったいない運動との連携 | 同左 | 同左 | |
| | 地域の実情に合わせた活動の支援 | 同左 | 同左 | |
| 事業費 | —— 千円 | —— 千円 | —— 千円 | |

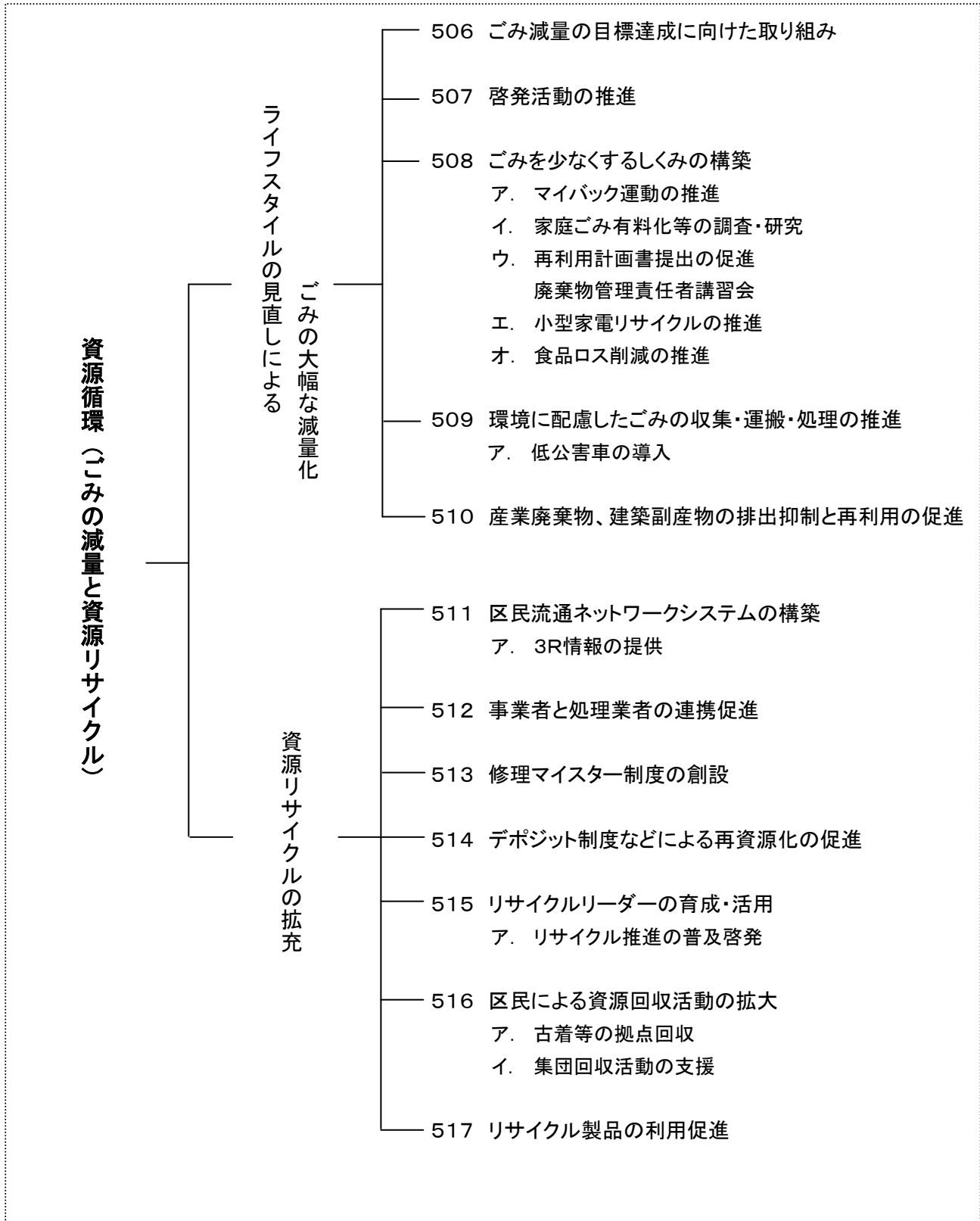
「—」:事業費は、NPO法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード504)の中で計上しています。

2 資源循環(ごみの減量と資源リサイクル)

【施策の考え方】

ごみの量は、平成11年10月から実施した資源回収事業の全区展開により減少傾向にありますが、ごみの減量をより一層推進することが必要です。限りある資源を大切にするために、区民と事業者が協力するとともに、効率的に3R(リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再資源化))を推進し、清掃事業と一体となった循環型社会形成に向けたしくみづくりが求められています。

【施策体系図】



(1) ライフスタイルの見直しによるごみの大幅な減量化

506 ごみ減量の目標達成に向けた取り組み

平成28年3月に改定した「第3期 Edogawa ごみダイエツプラン(一般廃棄物処理基本計画)」に基づき、平成33年度(2021年度)までに平成12年度に比べて20%のごみ減量を図ります。

507 啓発活動の推進

ごみ減量・リサイクルに関する取り組みを拡大するため、学校、町会・自治会等を単位として出前講座等の啓発活動を推進します。

また、ごみ減量の方法及びリサイクルの効果について、清掃・リサイクルニュースを発行し、3R(発生抑制、再使用、再資源化)の啓発等に努めます。併せて、区立小学校4年生全員に環境教育冊子「えどがわくのごみダイエツにチャレンジ」を配付し、環境学習の促進を図ります。

508 ごみを少なくするしくみの構築

えどがわエコセンターと連携を図りつつ、スーパー、コンビニ等の事業者、区民、区が一体となり、マイバッグの利用を促進し、ごみの減量を推進します。また、効果的なごみ減量施策のあり方について、学識経験者・区民・事業者の代表による廃棄物減量等推進審議会等で調査・研究します。

さらに、事業用面積が1,000㎡を超える大規模事業所を対象に、再利用計画書の作成・提出を促すとともに、廃棄物管理責任者講習会を実施し、事業者におけるごみの発生抑制、事業者処理責任の徹底を促進します。さらに、拡大生産者責任に基づいて、事業者が主体的にリサイクルに取り組みむよう、国や事業者に働きかけを行います。また、小型家電リサイクルや食品ロス削減の取り組みにより、資源化の推進とごみの減量を図ります。

| 施策コード | 508 | 年次計画 | | |
|----------------------------|-----|---|--------------|--------------|
| | | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) |
| 計画事業内容 | | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) |
| マイバッグ運動の推進 | | マイバッグ運動推進 | 同左 | 同左 |
| 事業費 | | 0千円 | 0千円 | 0千円 |
| 家庭ごみ有料化等の調査・研究 | | 廃棄物減量等推進審議会の開催 他自治体における実施状況や効果等の研究 | 同左 | 同左 |
| 事業費 | | 2,871千円 | 2,871千円 | 2,871千円 |
| 再利用計画書提出の促進 廃棄物管理責任者講習会 | | 実施 | 同左 | 同左 |
| 事業費 | | 430千円 | ※※※千円 | ※※※千円 |
| 小型家電リサイクルの推進 | | 実施 | 同左 | 同左 |
| 事業費 | | 172,669千円 | ※※※千円 | ※※※千円 |
| 食品ロス削減の推進 | | えどがわ食べきり推進運動の実施 ・フードドライブの実施 ・食べきり推進店の拡大 ・30・10運動の実施等 | 同左 | 同左 |
| 事業費 | | 1,411千円 | 1,411千円 | 1,411千円 |

509 環境に配慮したごみの収集・運搬・処理の推進

ごみ収集の直営車両の買い替えに当たっては、低公害車の購入を継続するとともに、雇上車両についても、引き続き、低公害車を使用するよう働きかけます。

| 施策コード | 509 | 年次計画 | | |
|---------|---|-------------------------|--------------|--|
| 計画事業内容 | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) | |
| 低公害車の導入 | 災害時にも対応できる 低公害車の導入 ・小型プレス車3台 ・新大型特殊車2台 | 耐用年数を越えた車両 の買い替え時に導入 | 同左 | |
| 事業費 | 55,890千円 | ※※※千円 | ※※※千円 | |

510 産業廃棄物、建築副産物の排出抑制と再利用の促進

建設リサイクルの届出及び分別解体を確実に推進するため、届出の徹底、意識啓発等を図るとともに、引き続き現場パトロールの実施を推進します。

(2) 資源リサイクルの拡充

511 区民流通ネットワークシステムの構築

区民の3R(リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再資源化))の取り組みを促進するために、わかりやすい情報を情報紙や区ホームページ等を活用して提供します。

| 施策コード | 511 | 年次計画 | | |
|---------|--------------------------------|--------------|--------------|--|
| 計画事業内容 | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) | |
| 3R情報の提供 | 3R店舗情報の提供 リサイクルバンク情報の 提供 | 同左 | 同左 | |
| 事業費 | 243千円 | 243千円 | 243千円 | |

512 事業者と処理業者の連携促進

家電製品等の資源リサイクルを確実に、かつ、より効果的に行うため、事業者、処理業者及び区が必要な情報交換を行えるよう連携の促進を図ります。

513 修理マイスター※制度の創設

ものを長く大切に使うため、事業者等の技術を活用して、「修理マイスター制度」に向けた人材育成について研究します。

※ **マイスター**:ドイツのものづくりの「親方」。「親方」の下で修行して一人前に」という中世からのものづくりのシステムを国家資格として整備したものがドイツのマイスター制度。

514 デポジット制度※などによる再資源化の促進

国及び事業者に対して再資源化品目の拡大の要請等を行うことに努めます。

また、デポジット制度については、その導入を国に働きかけるとともに、イベント時のリユースカップの導入等の先進的な取り組みについて研究します。

※ デポジット制度:ビールびん等のように、預り金、保証金等を取り、返却時に返金することにより、確実な返却を促すためのシステム。

515 リサイクルリーダーの育成・活用

資源の有効利用を促進するためにリサイクル施設見学会等の開催や清掃・リサイクルニュースを発行し、リサイクルの取り組みを広めます。

| 施策コード | 515 | 年次計画 | | |
|--------------|-------------------------------|--------------|--------------|--|
| 計画事業内容 | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) | |
| リサイクル推進の普及啓発 | リサイクル施設見学会等の実施 リサイクル情報誌の発行 | 同左 | 同左 | |
| 事業費 | 5,537千円 | 5,537千円 | 5,537千円 | |

516 区民による資源回収活動の拡大

区内施設を活用した古着等の拠点回収を実施し、ごみ減量と資源化を推進します。

地域力を生かし、良質な資源を効率的に回収できる集団回収活動を支援します。実施団体の安定的な運営を図るため、回収量に応じた報奨金の支給や集団回収ニュース等の配布等の支援を行います。

集団回収は資源の持ち去り防止対策としても有効なことから、より多くの方に参加していただくよう未実施町会等への働きかけを積極的に進めます。

さらに、回収業者に対しても、安定的な回収のために、資源の市況を参考にしながら支援を行います。

| 施策コード | 516 | 年次計画 | | |
|-----------|--------------|--------------|--------------|--|
| 計画事業内容 | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) | |
| 古着等の拠点回収 | 実施 | 同左 | 同左 | |
| 事業費 | 15,538千円 | 15,538千円 | 15,538千円 | |
| 集団回収活動の支援 | 実施 | 同左 | 同左 | |
| 事業費 | 65,115千円 | 65,115千円 | 65,115千円 | |

517 リサイクル製品の利用促進

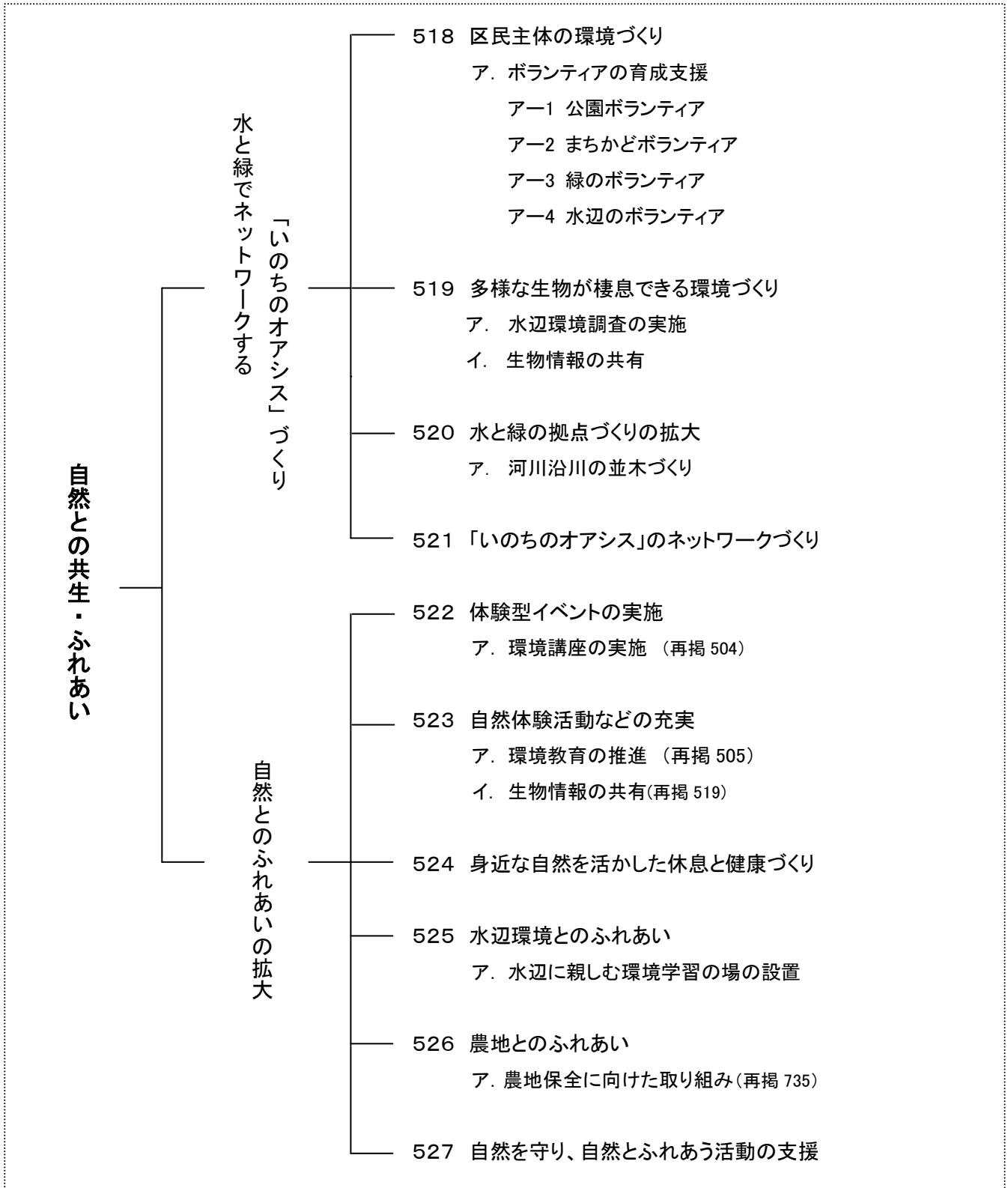
資源リサイクルを促進するため、区は事業者として、自らリサイクル製品の購入を促進するとともに、区民、事業者等のリサイクル製品の購入(グリーン購入)の促進を図ります。

3 自然との共生・ふれあい

【施策の考え方】

区には、区民の保全活動に支えられ、水と緑豊かな自然を活かしたうるおいの感じられる生活空間が形成されています。この特長を活かし、様々な生き物が棲む「いのちのオアシス」づくり、「花と緑の拠点」づくり等を進め、誰もが気軽に水と緑に親しめるような環境を整備します。また、これらの環境を利用して、自然とふれあうことのできる機会を充実します。

【施策体系図】



(1)水と緑でネットワークする「いのちのオアシス」づくり

518 区民主体の環境づくり

街路樹や水辺、公園、道路、駅前広場などで活動するボランティア団体に対して安全で円滑な活動ができるよう支援するとともに、区民相互の交流促進、相談支援、情報の収集・提供等の支援を行います。

元気な桜を育てるまちづくりを目標に、区内の桜を守り育て、広める役割を担う人材を育成し、その活動を支援します。

| 施策コード | | 518 | 年次計画 | | |
|-------------|------------|--------------|--------------|--------------|--|
| 計画事業内容 | | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) | |
| ボランティアの育成支援 | 公園ボランティア | 活動の相談・支援 | 同左 | 同左 | |
| | 事業費 | ※※※千円 | ※※※千円 | ※※※千円 | |
| | まちかどボランティア | 活動の相談・支援・広報 | 同左 | 同左 | |
| | 事業費 | 20千円 | 20千円 | 20千円 | |
| | 緑のボランティア | 活動の相談・支援 | 同左 | 同左 | |
| | 事業費 | 50千円 | 50千円 | 50千円 | |
| | 水辺のボランティア | 活動の相談・支援 | 同左 | 同左 | |
| | 事業費 | 20千円 | 20千円 | 20千円 | |

519 多様な生物が棲息できる環境づくり

水辺環境調査をえどがわエコセンターに委託し実施することで現状把握を行い、そのデータを水辺の自然の保全活動に活用していきます。

多様な生物が棲息できる環境づくり実現のため、江戸川区版生物多様性地域戦略の策定や区民参加型の情報発信・共有環境の整備を進め、区民の生物多様性に関する興味・関心の醸成や意識啓発を図ります。

| 施策コード | | 519 | 年次計画 | | |
|-----------|--|---------------------|--------------|--------------|--|
| 計画事業内容 | | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) | |
| 水辺環境調査の実施 | | 水辺環境調査 | 同左 | 同左 | |
| 事業費 | | 1,674千円 | 1,674千円 | 1,674千円 | |
| 生物情報の共有 | | 生物情報の発信・共有 環境の整備 | 情報収集・発信 | 同左 | |
| 事業費 | | 0千円 | ※※※千円 | ※※※千円 | |

520 水と緑の拠点づくりの拡大

スーパー堤防整備等の機会を捉えて堤防天端等への桜並木の整備を進め、良好な景観や親水空間の創出を図ります。

| 施策コード | 520 | 年次計画 | | |
|------------|-----|---------------|--------------|--------------|
| 計画事業内容 | | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) |
| 河川沿川の並木づくり | | 江戸川二丁目地区協議・調整 | さくら植栽工事 | 協議・調整 |
| | | 篠崎公園地区協議・調整 | 同左 | 同左 |
| 事業費 | | 0千円 | ※※※千円 | ※※※千円 |

521 「いのちのオアシス」のネットワークづくり

地域の憩いの場となる利用の促進を図るとともに、生態系に配慮した、より自然に近い親水緑道の整備を図ります。

(2) 自然とのふれあいの拡大

522 体験型イベントの実施

えどがわエコセンターで実施する自然観察会等の環境講座を支援します。

| 施策コード | 522 | 年次計画 | | |
|---------------|-----|--------------|--------------|--------------|
| 計画事業内容 | | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) |
| 環境講座の実施 再掲504 | | 環境講座 | 同左 | 同左 |
| 事業費 | | — 千円 | — 千円 | — 千円 |

「—」: 事業費は、環境講座の実施(施策コード504)の中で計上しています。

523 自然体験活動などの充実

えどがわエコセンターを中心とした、諸団体が地域で行う環境に関する活動に対して支援を行います。

また、多様な生物が棲息できる環境づくり実現のため、江戸川区版生物多様性地域戦略の策定や区民参加型の情報発信・共有環境の整備を進め、区民の生物多様性に関する興味・関心の醸成や意識啓発を図ります。

| 施策コード | 523 | 年次計画 | | |
|------------------|-----|---------------------|--------------|--------------|
| 計画事業内容 | | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) |
| 環境教育の推進 再掲505 | | 地域の実情に合わせた活動の支援 | 同左 | 同左 |
| 事業費 | | — 千円 | — 千円 | — 千円 |
| 生物情報の共有 再掲519 | | 生物多様性地域戦略 計画検討 | 計画策定 | 計画実施 |
| | | 生物情報の発信・共有 環境の整備 | 情報収集・発信 | 同左 |
| 事業費 | | — 千円 | — 千円 | — 千円 |

「—」: 事業費は、NPO法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード504)、生物情報の共有(施策コード519)の中で計上しています。

524 身近な自然を活かした休息と健康づくり

河川堤防上の通路等の利用を図り、サイクリングロードの整備の充実に努める等、健康増進のために、自然の中で気持ちよく散歩等が行える環境づくりを推進します。

525 水辺環境とのふれあい

えどがわエコセンターや子ども未来館と連携し、豊かな水辺空間を活用した環境学習の場づくりを提供・推進します。

| 施策コード | 525 | 年次計画 | | |
|-----------------|---------------|--------------|--------------|--|
| 計画事業内容 | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) | |
| 水辺に親しむ環境学習の場の設置 | 環境学習等の場としての活用 | 同左 | 同左 | |
| 事業費 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | |

526 農地とのふれあい

本区の貴重なみどり・オープンスペースである農地について、保全や活用等に向けた取り組みを進めます。

| 施策コード | 526 | 年次計画 | | |
|------------------------|--------------|--------------|--------------|--|
| 計画事業内容 | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) | |
| 農地保全に向けた取り組み 再掲 735 | 農地保全策の検討 | 同左 | 同左 | |
| 事業費 | 0千円 | ※※※千円 | ※※※千円 | |

527 自然を守り、自然とふれあう活動の支援

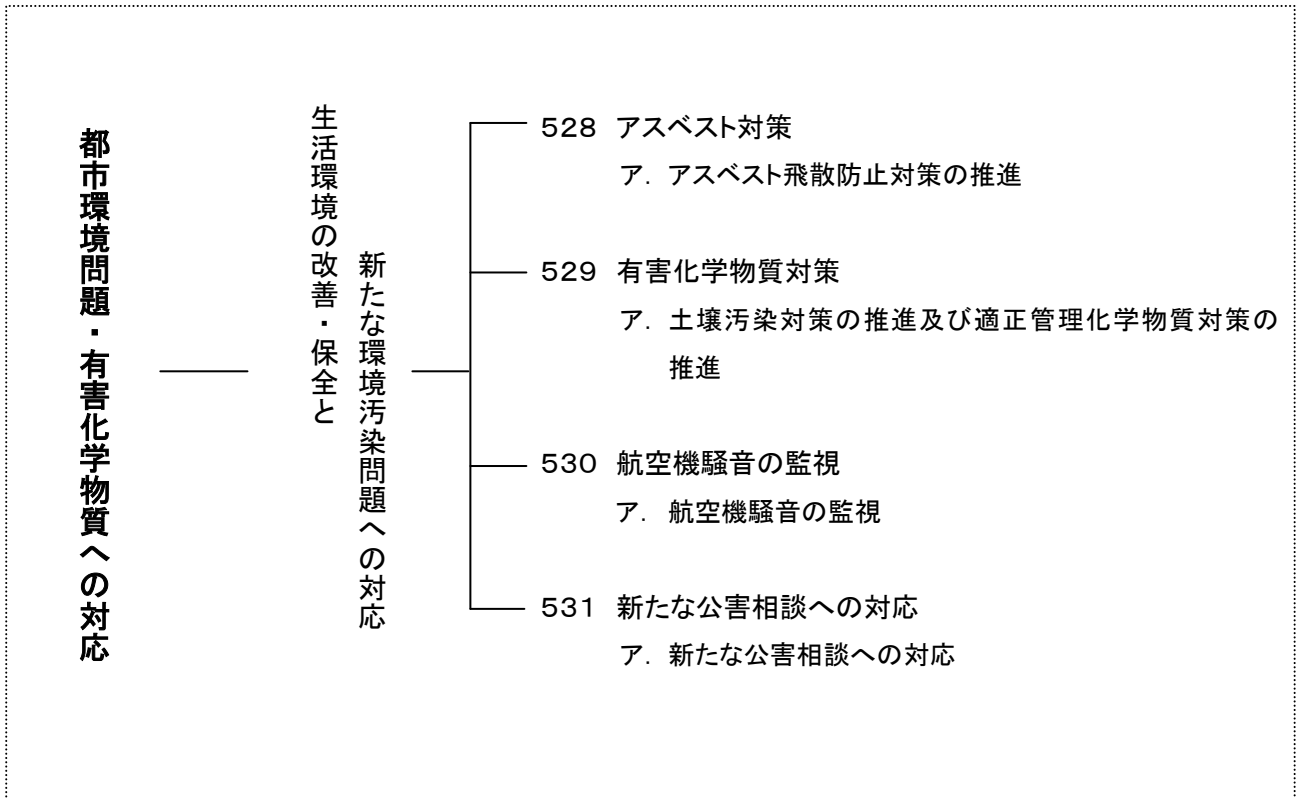
多くの生き物が生息する水辺の自然生態系を保全し、また国や都との連携により復元・再生を図って、より良い水辺づくりを推進します。また、親水公園周辺に生息する生物や植物について学び、自然に親しみながら生物調査と環境学習指導者を育成します。

4 都市環境問題・有害化学物質への対応

【施策の考え方】

区民の暮らしに影響を及ぼす都市環境問題、有害化学物質等について、国及び都と協力しながら、区民、事業者等ともに対応します。また、問題の発生及び被害の拡大を防止するための情報の共有化を図り、リスクの低減に努めます。

【施策体系図】



(1)生活環境の改善・保全と新たな環境汚染問題への対応

528 アスベスト対策

解体工事等における事前調査や作業方法の不備によるアスベスト飛散を防止するため、工事業者に対して適切な工事方法を指導します。また、建築物のアスベスト調査費の助成や、大気環境中のアスベスト濃度を測定するなど、アスベスト対策を推進します。

| 施策コード | 528 | 年次計画 | | |
|----------------|------------------|--------------|--------------|--------------|
| | | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) |
| 計画事業内容 | | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) |
| アスベスト飛散防止対策の推進 | 建築物等の解体等工事に対する指導 | | 同左 | 同左 |
| | アスベスト除去等作業に対する指導 | | 同左 | 同左 |
| | 大気環境測定の実施 | | 同左 | 同左 |
| | アスベスト調査費の助成 | | 同左 | 同左 |
| 事業費 | | 1,382千円 | 1,382千円 | 1,382千円 |

529 有害化学物質対策

有害化学物質の環境汚染や被害を防止するための取扱事業所等の情報を共有していきます。

また、事業者に対する土壌汚染リスク、有害化学物質の適正な取り扱いや災害時のリスク管理等について周知徹底し、化学物質対策を推進します。

| 施策コード | 529 | 年次計画 | | |
|--------|---------------------------------|--------------|--------------|--------------|
| | | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) |
| 計画事業内容 | 有害物質取扱事業所 に対する啓発及び指導 | 同左 | 同左 | |
| | 適正管理化学物質取 扱事業所に対する啓発 及び指導 | 同左 | 同左 | |
| 事業費 | | 397千円 | 397千円 | 397千円 |

530 航空機騒音の監視

羽田空港着陸機の南風悪天候時等における、区上空飛行の状況、及び、騒音影響を確認するため、清新町で航空機騒音の常時測定を継続して実施します。

また、国土交通省に対し、引き続き航空機騒音低減について申し入れを行います。

| 施策コード | 530 | 年次計画 | | |
|--------|----------------------|--------------|--------------|--------------|
| | | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) |
| 計画事業内容 | 着陸機の騒音測定 | 同左 | 同左 | |
| | 国土交通省への騒音 低減の申し入れ | 同左 | 同左 | |
| 事業費 | | 3,736千円 | 3,736千円 | 3,736千円 |

531 新たな公害相談への対応

ライフスタイルの変化や価値観が多様化し、苦情内容が従来型の公害相談以外にも生活関連相談が多数寄せられている現状を踏まえ、関係部署との連携や専門機関の紹介など、状況に応じた適切な対応により解決へと導きます。

| 施策コード | 531 | 年次計画 | | |
|--------|-----------------|--------------|--------------|--------------|
| | | 30年度(2018年度) | 31年度(2019年度) | 32年度(2020年度) |
| 計画事業内容 | 状況に応じた適切な 対応 | 同左 | 同左 | |
| 事業費 | | 932千円 | 932千円 | 932千円 |

